

## 平成30年産水稻の収穫量（滋賀県）

－ 水稻の収穫量（主食用）は15万4,100 t －

### 1 作付面積

平成30年産水稻の作付面積（子実用）は3万1,700haで、うち主食用作付面積は3万100haとなった。

### 2 作柄概況

(1) 平成30年産水稻の作柄は、穂数及び1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから全もみ数は「平年並み」となった。

7月下旬に接近した台風第12号の影響により稔実の低下がみられたものの、出穂期から8月下旬までの気温及び日照時間が平年を上回ったことから登熟は「平年並み」となった。

これらのことから、10a当たり収量は512kg（前年産に比べ5kg減少）となった。

また、農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は99となった。

(2) 作柄表示地帯別の10a当たり収量は、湖南が521kg（前年産に比べ5kg減少）、湖北が493kg（同5kg減少）となった。

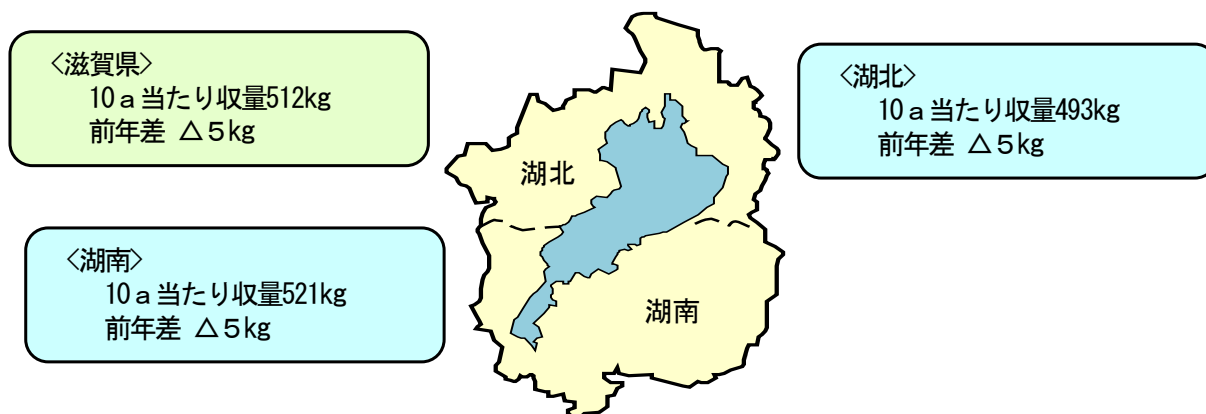
(3) 被害は、収穫前の台風と長雨による倒伏や刈り遅れにより穂発芽などの風水害が発生し品質低下等が発生した。

### 3 収穫量

収穫量（子実用）は16万2,300 t（前年産に比べ1,600 t 減少）となった。

うち、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は15万4,100 t となった。

図 作柄表示地帯別の10a当たり収量



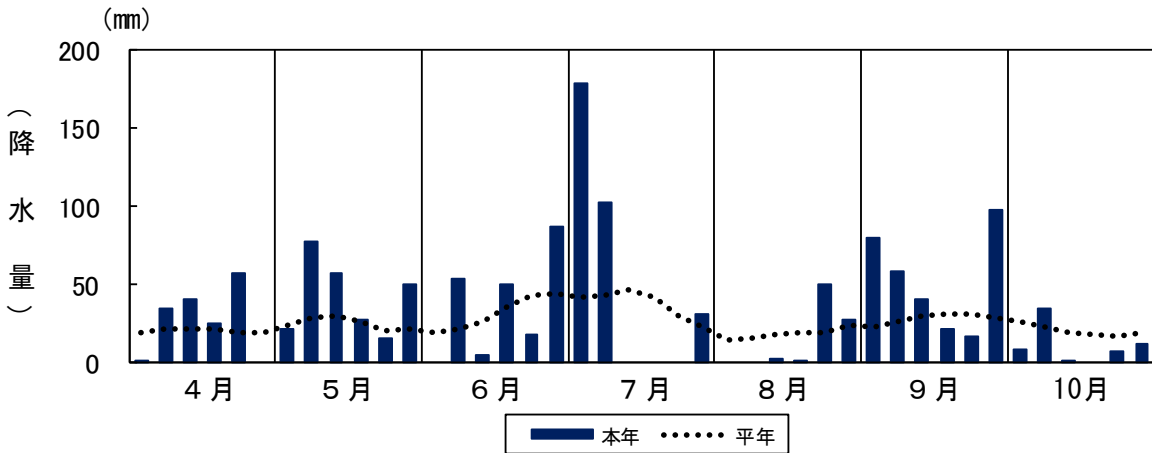
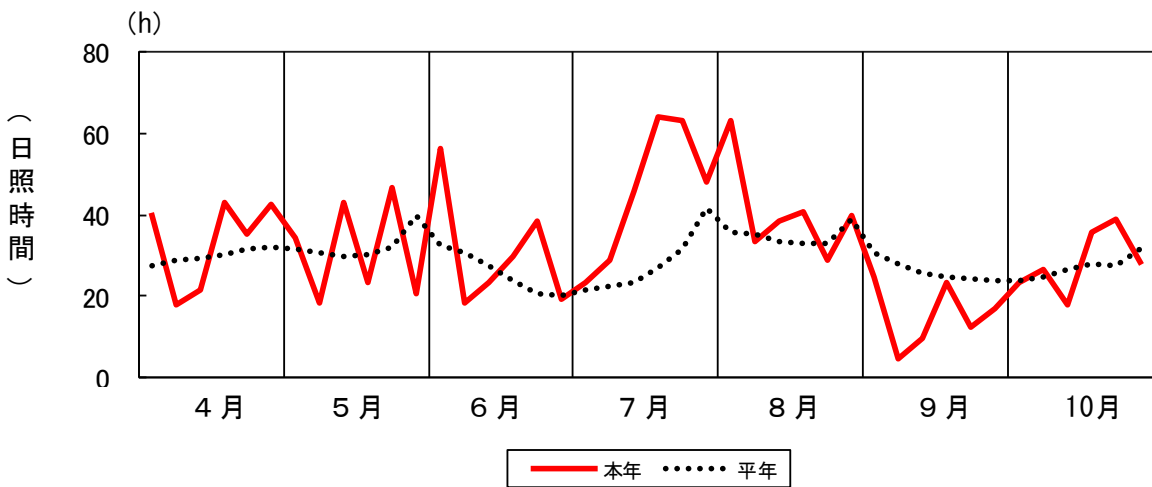
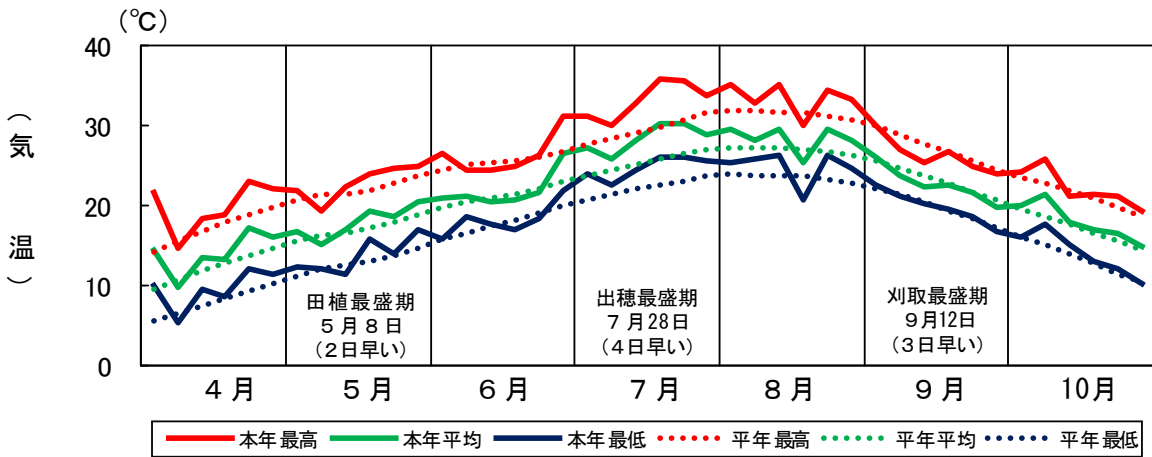
○ この資料は、「平成30年産水稻の収穫量（近畿）」（平成30年12月10日公表）の補足資料として作成したものである。

本資料は、近畿農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/yotei/2018.html> 】

【参考】

滋賀県（彦根市）の気象



資料：気象庁『アメダスデータ』

注：田植期、出穂期及び刈取期の最盛期は、県平均の期日である。

なお、( )は、対平年差である。

【お問合せ先】

近畿農政局 滋賀県拠点 統計チーム

電話：(代表) 077-522-4261 内線 3412

(直通) 077-522-4344

FAX： 077-526-3062